



障害者の就労支援を考える

～県南障害者就業・生活支援センター「コノコノ」の取り組み～



▲県南障害者就業・生活支援センター「コノコノ」のキャラクター

平成25年4月、障害者の雇用の促進等に関する法律(以下、障害者雇用促進法)が改正され、障害者の法定雇用率が引き上げられるなど、近年障害者の就業に関する支援の質の向上と、雇用促進対策が進められています。

障害者就業・生活支援センターは、障害を持った方々の身近な地域において、就業面と日常生活面において総合的な支援を行う相談窓口で、障害者雇用促進法に基づいて設置されています。労働に関する施策から設置されている機関の一つですが、厚生労働省の認可を経て、主に社会福祉法人やNPO法人がその運営を行っており、福祉的な要素が強いといえます。

今号では、社会福祉法人 白石陽光園 県南障害者就業・生活支援センター「コノコノ」の取り組みから、障害を持つ方の就労支援について考えます。

のセミナーを開催しています。平成27年度は10月9日(金)白石市のホワイトキューブにて、発達障害のセミナーを開催予定となっております。

また、地域によって「障害」に対する知識が十分ではないことから、障害者に対して周囲が抵抗を感じているケースもまだまだみられるようです。

「障害」に対し抵抗を感じている環境では、障害者雇用の在り方を考えていくことは難しいでしょう。まずは周囲の「障害」についての正しい理解が必要です。雇用する側の企業や福祉関係機関、支える家族など、障害を持つ方を取り巻く周囲の「障害」への十分な基礎理解を進めていくために、セミナーの開催といった取り組みで、地道に周知活動を行っていくことが大切だということでした。

地域によって社会資源や、地域の実状は異なるといえます。そこで、障害者の就業に関わる人のネットワークづくりに向けた「宮城就業支援ネットワーク」の設立総会が平成27年6月に開催予定であるといえます。県内の障害者就業・生活支援センター、仙台の就労支援センターが中心となり、障害者の就業・雇用に関わる企業や、福祉、医療、教育などの分野から関係者同士の「顔の見える関係づくり」を進めていくことになっています。地域によって、障害者雇用を取り巻く現状の課題は異なりますが、それらについて、地域全体を同じにするのではなく、地域の中で課題を解決するスキルや県内全体の支援のスキルを向上していくことを目指し、今後ネットワークづくりを力を入れていくということになります。

平成27年度で、開設から9年目を迎える「コノコノ」。印象的な「コノコノ」というセンター名は、スワヒリ語で「カタツムリ」を意味する言葉に由来して名付けられたといえます。

障害者就業・生活支援センター

県内の障害者就業支援のスキル向上を目指して —これからの取り組み—

障害者就業・生活支援センターは宮城県内各地域、各圏域ごとに設置されていますが、それぞれの

県南障害者就業・生活支援センター「コノコノ」の概要

障害者就業・生活支援センターは県内の各地域に設置され、県南地域を担当する県南障害者就業・生活支援センター「コノコノ」(以下、「コノコノ」)では、県南地域の白石市・角田市・七ヶ宿町・蔵王町・大河原町・柴田町・村田町・川崎町・丸森町の2市7町にお住まいの知的・精神・身体いずれかの障害を持つ方を対象として、様々な関係機関と連携しながら、就業に係る悩みや生活面での相談支援を行っています。現在「コノコノ」では、約300名の方が利用登録をしており、最近の利用傾向としては、精神障害や発達障害の方の相談が増えてきているといえます。

個人の特性や希望に応じて、個人の抱える課題の整理や、関係機関に繋ぎ就業までの準備(実習など)の機会を設定していきます。例えば、就業面での支援では、職場実習の実施や必要に応じて宮城障害者職業センターが行う職業評価の実施などを通して、本

が行う支援において、障害者の就業に関する就業に結び付けることが支援のゴールではないといえます。就職したのちも、就業に関することや生活面での悩み・課題が生じれば、その都度介入し、関係機関と連携しながら、対象となる方を支援していくこととなります。支援対象者に長い期間、ゆとり丁寧に関わっていく支援のあり方が「コノコノ」というセンター名に表れているのです。

「コノコノ」就業支援員の山谷さんは、「障害者就業・生活支援センターは、18歳から65歳という人生の中でも色々なことが起きるとも重要な部分に携わっていくことになりました」とお話ししてくださいました。

人生の重要な期間に、深く長期的に関わる支援機関だからこそ、「コノコノ」というセンター名のように、じっくりと丁寧な関わりが続けられることが必要なのでしょう。

(宮城県社協 取材)

人の得意なことや苦手なこと・特徴を踏まえながら、目標とする就職先を決定していきます。無事、就業に結びついた後も、就業により発生した給料の金銭管理についての問題など生活面での課題が見つければ、介入し支援に入っていくこととなります。

障害者就業・生活支援センターの現状

法律が整備され、障害者雇用促進対策が進む昨今ですが、社会では障害者就業・生活支援センターの認知度は、まだそれほど高くはないといえます。「センターのことや障害のことを、多くの方に知ってもらえるように地道な周知活動を続けていくことが大切なんです」とお話しして下さったのは「コノコノ」就労支援係長の門脇さん。「コノコノ」では、障害者を雇用する側の企業や施設、障害者を支える家族など、障害者の就労支援に関わる方々を幅広く対象とし、年に一度、障害理解を深めるため

よくあるご質問

このようにお悩み解決できますか?

白石市・角田市・七ヶ宿町・蔵王町・大河原町・柴田町・村田町・川崎町・丸森町の2市7町にお住まいの方を対象としています。

このようにお悩み解決できますか?

就業先を探るのにお悩みはありますか?

就業先を探るのにお悩みはありますか?

就業先を探るのにお悩みはありますか?

就業先を探るのにお悩みはありますか?

就業先を探るのにお悩みはありますか?

自立・安定した職業生活の実現に向けて

障害のある方

就業先を探るのにお悩みはありますか?

就業先を探るのにお悩みはありますか?

就業先を探るのにお悩みはありますか?

就業先を探るのにお悩みはありますか?

就業先を探るのにお悩みはありますか?

障害者就業・生活支援センターとは

障害のある方の職業生活に関する相談窓口です

就業先を探るのにお悩みはありますか?

就業先を探るのにお悩みはありますか?

就業先を探るのにお悩みはありますか?

就業先を探るのにお悩みはありますか?

就業先を探るのにお悩みはありますか?

